

ブドウ「ルビーロマン」のブランド化の推進 ～全国ブランドを目指して～

石川県農林総合研究センター農業試験場中央普及支援センター

要旨

- 「ルビーロマン」は、**県オリジナルの新品種**
- 平成18年に県産農産物のブランド化を牽引する「いしかわ戦略作物」に位置づけ、**生産者、J A、民間専門家等で構成するプロジェクトチームを編成**し、ブランド化を推進
- 中央普及支援センターは、**広域センターの機能を発揮し、プロジェクトチームの活動を総括**
- 普及指導員はプロジェクトリーダーとして**生産から販売まで広範囲な課題解決をコーディネート**
- 厳格な出荷基準の運用**で高級ブランドイメージを構築



「ルビーロマン」の果房

課題・目標

「**日本一の赤色大粒ブドウを全国ブランドに！！**」をキャッチフレーズに、

○県オリジナル品種の優位性を活かして、**県内外への定着と有売利販**を実現

○粒の大きさを活かして、**粒売りなど新商品を開発**し購買層を拡大

○「ルビーロマン」を起爆剤に**ブドウ産業を活性化**を目標に活動をスタート

活動成果

○高級ブランドイメージを構築

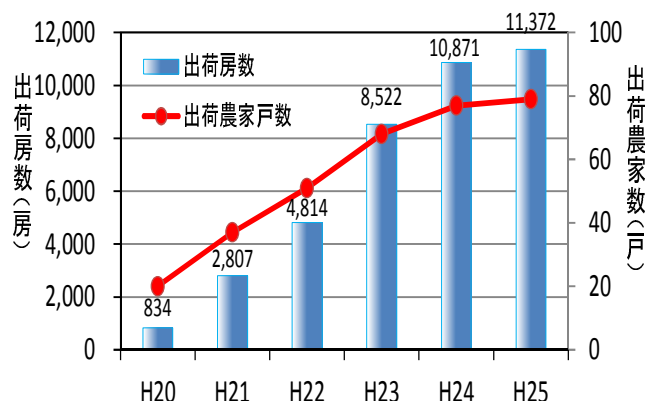
- ・**県下一元集出荷体制を確立**
- ・**県内市場に定着**、知名度向上
- ・東京・大阪市場からも高評価
- ・加工認証制度の創設



化粧箱

○出荷戸数・出荷房数が拡大

- H20 → H25
- ・出荷戸数：20戸 → **79戸**
 - ・出荷房数：834房 → **11,372房**



活動内容

1 市場定着と販路拡大

- ①販売戦略の策定
生産者と関係機関が一体となって、ブランド化を検討
- ②厳格な出荷基準の設定
「ブランド＝消費者への約束事」として、**厳格な出荷基準を生産者自ら設定**
- ③PR活動の展開
民間専門家のアドバイスを受けながら**サポーターの募集**等県内外の効果的なPR活動を実施
- ④商品開発
出荷できない房について、**ブランドイメージを損なわない**よう、加工品等の有効策を検討



プロジェクト会議



サポーターの募集

2 栽培技術の確立と普及

- ①優良な苗木の生産と供給
機械接ぎ木による大量育苗体制を整備
- ②栽培マニュアルの作成
研究成果や現場事例をもとに作成・改訂
- ③種なし栽培への誘導
消費者ニーズへの対応と着粒安定・大粒化のため、種なし化を推進
- ④個別指導カルテの整備
普及指導員の指導ツールとしてカルテを作成。生産者の**技術レベルに合わせてきめ細やかに**指導



機械接ぎ木の実演



種なし栽培講習会